

# ぶどう「クイーンニーナ」は、無核栽培ができる 赤色の大粒品種として有望である

果樹試験場

## 1 技術の要約

ぶどう「クイーンニーナ」は、赤色の無核大粒品種として有望です。開花前のストレプトマイシン散布と2回のジベレリン処理により無核栽培を行ないます。果実品質の目標は、果粒重 16~17g、着粒数 30 粒程度、果房重 500g、糖度 20 Brix% 以上、酸含量 0.3~0.4g/100ml とします。

## 2 技術の内容

ぶどう「クイーンニーナ」の成熟期は「巨峰」よりやや遅く、須坂市では9月下旬~10月上旬です。果皮色は赤色で、果粒重 16~17g 程度となります。フォクシー香があり、果肉が「巨峰」より硬く、糖度は高く 20Brix%以上となり、食味は優れています。

県下の標高 350~745m のぶどう生産地では、標高に関係なく良好な着色が得られました。また、高標高地でも酸抜けに問題はありませんでした。これらのことから、本品種は赤色の無核大粒品種として有望であると考えられました。

本県において目標とする品質の果実を生産するためには、果房管理により着粒数 30 粒程度、果房重 500g とし、着果量は 1.2~1.3t/10a とする必要があることを明らかにしました。

表1 現地における「クイーンニーナ」の果実品質<sup>2</sup> (平成 27 年、果樹試験場)

栽培地	標高 (m)	収穫日 (月.日)	果房重 (g)	果粒重 (g)	糖度 (Brix%)	酸含量 (g/100ml)	着色指数
中野市	430	9.18	431	16.2	18.6	0.45	5.2
坂城町	420	9.18	570	18.9	20.1	0.29	5.4
東御市	650	9.29	461	19.4	21.0	0.34	5.4
塩尻市	745	9.29	498	15.2	20.3	0.39	5.5
飯田市	560	9.16	602	18.5	20.6	0.41	5.4

<sup>2</sup>果実カラーチャート フドウ赤・紫・黒色系 (農水省果樹試作成) の指数。指数4:淡赤、5:赤、6:濃赤。



写真1 「クイーンニーナ」の果実 (無核栽培)

### 【果実品質目標】

果皮色：赤色  
果粒重：16~17g  
果房重：500g  
糖度：20 Brix%  
酸含量：0.3~0.4g/100ml

### 【収穫適期】

須坂では満開後 105 日頃となり、果房全体が赤色となった頃。

### 【果房管理方法】

- 花穂整形では、花穂先端 3.5cm 程度を残す。
- 開花前にストレプトマイシン 200ppm を散布する。
- ジベレリン 25ppm で 2 回、花房 (果房) を浸漬処理する。
- 摘粒は、軸長 8cm、30 粒程度に行なう。
- 着果量は 1.2~1.3/10a (2,500 果房/10a) 程度を目安とする。